



# 森林レンジャーあきる野新聞

Vol.12

2011年5月号

発行：森林レンジャーあきる野

## 市内の森を巡視

森林レンジャーあきる野が発足して、5月で1年が経過しました。初めは、どこに行くにも見知らぬ場所で、森や沢、生き物の状態を見るので手一杯の始まりでした。2年目を迎えた私たちの活動は、市域の主だったハイキングルートを一〇区画に分けて、毎月1回、同じルートを4人のレンジャーで手分けして巡視しています。これ以外の時間は、これまでと同様に山や道の整備、沢や森の調査を続けています。ルートを固定して巡視することで、特定の地域を定期的に観察することができます。そのため、時間や季節の変化を見ながら生き物や森を見て回れるようになり、より深く地域の調査ができるようになると思います。それぞれの地域を定期的に巡視していますので、青い服のレンジャーを見たら、気軽に声をかけてください。(杉野)

[写真 上、金比羅尾根巡視 下、深沢巡視]



## 自然環境資源調査 ～ 滝調査の裏話～



パブロレンジャーが今日も奥山の沢に向かう。目的はただ一つ、沢の奥に潜む滝の発掘だ。彼は滝を発見するために道なき道を進み、美しい滝の写真を撮影することに情熱をそそぐ。滝に行き着くためには、左の写真にあるような急な斜面を越えていくのだ。いったい何が彼をそうさせるのだろうか？滝のしぶき、岩をうつ水の音、そこに自然の源を感じると彼は言う。

奥山の沢にはめったに人が入らないため希少な野生動植物が



清流に生息するヒダサンショウウオ

豊富である。両生類好きのパブロレンジャーが偶然ヒダサンショウウオに出会うこともある。そういった出会いがあるからこそ、彼は滝調査へと向かうのではないだろうか。(佐々木)